

ウクライナ戦争やめろ！米日の中国侵略戦争阻止！

ウクライナ戦争が開始されて1年半。ウクライナ・ロシア両軍の死傷者はすでに50万人に達しようとしています(8/18『ニューヨークタイムズ』)。世界戦争級の戦争です。米・NATOはクラスター弾や劣化ウラン弾などの大量殺戮兵器に続き、F16戦闘機の供与も開始し、全面的にウクライナを支援しています。今やウクライナを押し立て、ロシア・プーチン体制を打倒する、米・NATO自身の戦争であることは明らかです。

米・NATOもロシアもウクライナから手を引け！今こそ声をあげていきましょう。

アメリカは、ロシアと同時に中国への戦争も、構えています。昨年発表された米国家安全保障戦略では、「ロシアを抑え込み、中国を打ち負かす」と明記しています。戦後世界の絶対的な基軸国として君臨してきたアメリ

NATO首脳会議に合わせて 各国が発表した 主な軍事支援の内容

米国	クラスター弾を含む総額8億ドル(約1100億円)相当の追加供与
英国	戦闘車両、戦車用砲弾などの追加供与
ドイツ	歩兵戦闘車40両、砲弾2万発などの総額7億ユーロ(約1080億円)相当の追加供与
フランス	長距離巡航ミサイルの供与

7月13日付
読売新聞

力。その没落と世界支配の崩壊ゆえに、中国を今叩き潰すという戦略をバイデンは構えています。岸田政権による敵基地攻撃能力保有や軍事予算倍増は、アメリカの中国侵略戦争に日本自身が積極的に参戦するものです。

横須賀基地撤去！日米安保粉碎！

横須賀基地は、米軍にとってアメリカ本土以外で唯一の空母の母港です。中国本土への全面攻撃部隊となる米海軍第7艦隊、原子力空母ロナルド・レーガンの中核とした空母打撃群を擁する最大の出撃拠点であり、米海軍と海上自衛隊の司令部機能および艦隊群が隣接した日米軍事一体化の中核拠点でもあります。

中国侵略戦争は沖縄とならんで横須賀が最大の出撃基地となります。今年に入り米シンクタンク・戦略国際問題研究所などが「台湾有事」をシミュレートした報告書を相次いで発表し、在日米軍基地の存在、自衛隊との連携、日本の民間空港・港湾の活用など、いずれも中国侵略戦争において「日本が群を抜いて最も重要だ」と確認しています。日本の全

面的な参戦なくして、アメリカは中国との本格的・全面的な戦争を遂行できません。

昨年末の安保3文書による「戦争する国」への転換の中で、基地は臨戦態勢化しています。横須賀における反戦・反基地闘争は戦争を阻止する決定的な位置を持っています。73年の米空母ミッドウェー寄港-空母母港化50年の10・1横須賀闘争にたとう！

**ウクライナ反戦・岸田打倒！
原発汚染水放出即時中止せよ！
9・23全国集会・大デモ**

9月23日(土)

午後1時集会／2時40分デモ出発
東京・芝公園23号地(港区芝公園3-4)

主催 改憲・戦争阻止! 大行進